

(アスファルト関係)

様式 38

アスファルト試験成績一覧表

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

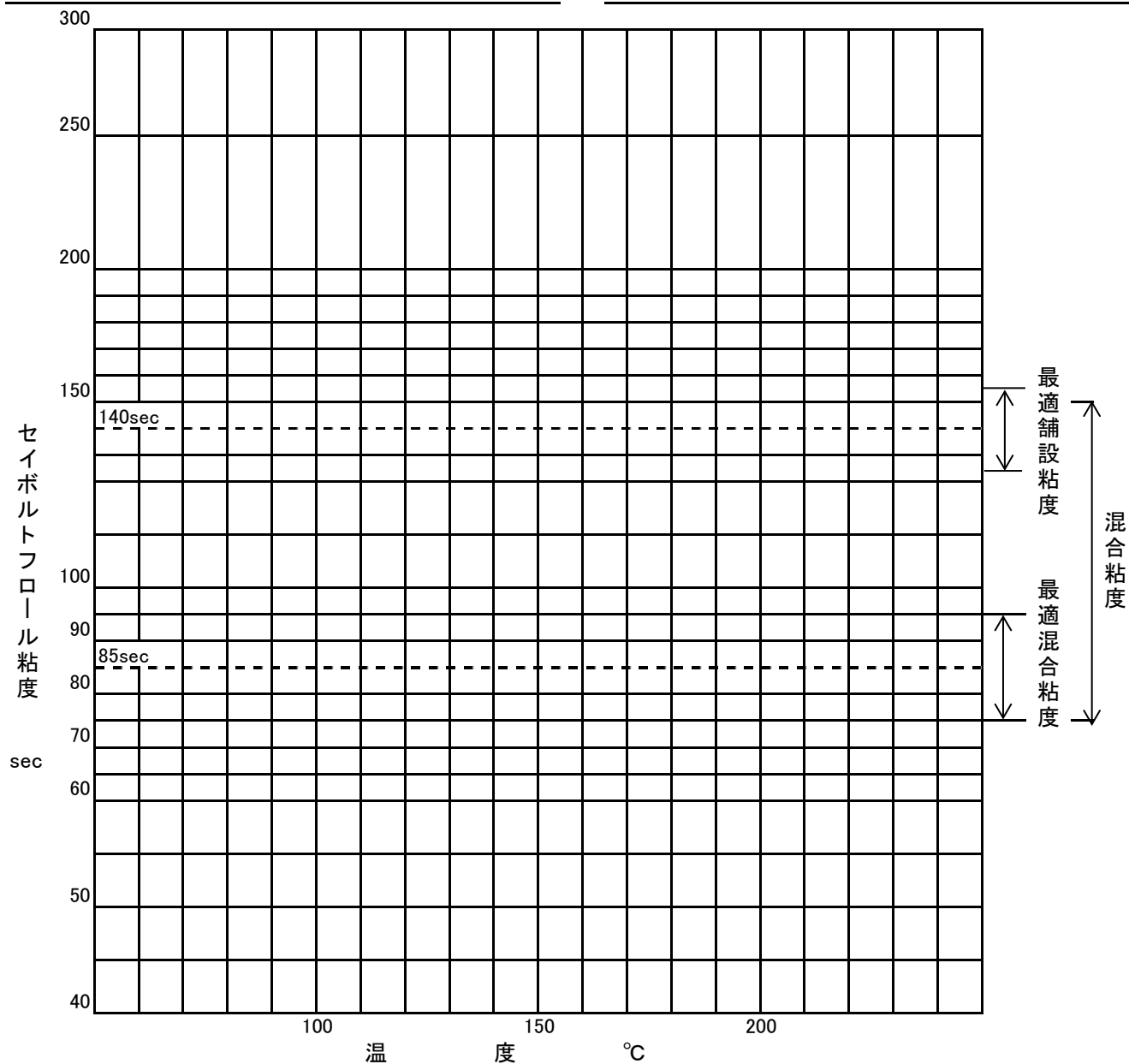
分類			
用途			
製造会社			
密度 (25°C/25°C)	規格	規格	規格
軟化点 °C	規格	規格	規格
針入度	(0°C. 200g. 60秒)	※	
	(25. 100. 5)	規格	規格
	(46. 50. 5)	※	
伸度	(25°C)cm	※	
	(15)cm	規格	規格
	(10)cm	※	
	(5)cm	※	
薄膜加熱重量変化 %	規格	規格	規格
薄膜加熱後の針入度 %	規格	規格	規格
蒸発後の針入度比 %	規格	規格	規格
三塩化エタン可溶分 %	規格	規格	規格
引火点 °C	規格	規格	規格

※は分類につき3,000ton以上使用するものに行う。  
アスファルトメーカーが行った場合は日本道路協会規格による。

試験所名 \_\_\_\_\_

アスファルトの粘度温度表

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_



	記号	種類	加熱温度	混合温度	舗設温度
最適温度			± °C	± °C	± °C
			± °C	± °C	± °C
現場管度			± °C	± °C	± °C
			± °C	± °C	± °C
混合舗設間温度低下推定					± °C

粗骨材試験成績一覧表（碎石）

工事名		受注会社名			
工種名		測定者			印
種	類				
用	途				
産	地				
生	産	会	社		
原	石	種	類		
粒度 (通過量 %)	53	mm			
	37.5				
	31.5				
	26.5				
	19				
	13.2				
	9.5				
	4.75				
	2.36				
密	度				
単位体積質量(標準) kg/m <sup>3</sup>					
" (軽装) kg/m <sup>3</sup>					
安定性 %					
吸水率 %					
すりへり減量 %					
洗い試験で失われる量 %					
軟石量 %					
細長、扁平(質量) %					
" (箇數) %					
総試料質量 kg					
アルカリシリカ反応	試験結果				
試験(JIS A 5308)	試験方法				
試験年月日					
試験機関名					

細骨材試験成績一覧表（砂）

工事名		受注会社名			
工種名		測定者			印
種	類				
用	途				
産地	河川名				
"	市郡町村				
生産	会社				
粒度 (通過量%)	4.75 mm				
	2.36				
	0.6				
	0.3				
	0.15				
	0.075				
	F・M				
密	度				
単位体積質量(標準) kg/m <sup>3</sup>					
" (軽装) kg/m <sup>3</sup>					
安定性 %					
吸水率 %					
洗い試験で失われる量 %					
粒形判定実績率					
総試料質量 kg					
アルカリシリカ反応	試験結果				
試験(JIS A 5308)	試験方法				
試験年月日					
試験機関名					
備考					

石粉及びスクリーニングス試験成績一覧表

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印

種	類				
用	途				
産	地				
生	産	会	社		
原	石	の	種	類	
粒 度 ( 通 過 量 %) )	9.5	mm			
	4.75				
	2.36				
	0.6				
	0.3				
	0.15				
	0.075				
密	度				
単	位	体	積	質	量 (標準) kg/m <sup>3</sup>
”		(	軽	装)	kg/m <sup>3</sup>
安	定	性	①	%	
吸	水	率	②	%	
す	り	へ	り	減	量 ③ %
0.075	通	過	分	の	P. I. ④
加	熱	変	質	200 °C	⑤
フ	ロ	ー	試	験	⑥ %
浸	水	膨	張	⑦	%
は	く	離	試	験	⑧ %
総	試	料	質	量	kg
試	験	年	月	日	

注 ①～③はスクリーニングスのみとする。

④～⑧は原石が石灰岩以外の石粉及び合成した場合の0.075通過分の1割以上がスクリーニングス0.075通過分で占める場合のスクリーニングスの0.15通過分について行う。

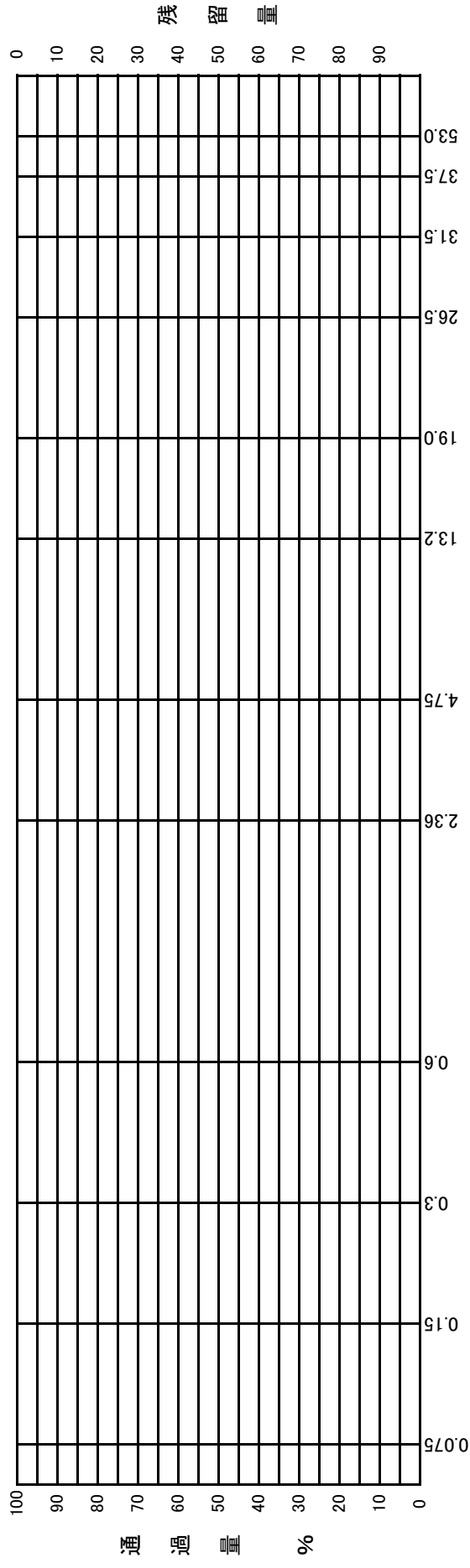
⑤は200℃ ⑥はセメントモルタル用フローテーブルで15回落下200mmの時の石粉に対する水の重量比

様式 43

骨材粒度曲線表(アスファルト)

試験日 平成 年 月 日

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_



粒 径 mm

①		④	⑦
②		⑤	⑧
③		⑥	例
種類、産、用途			

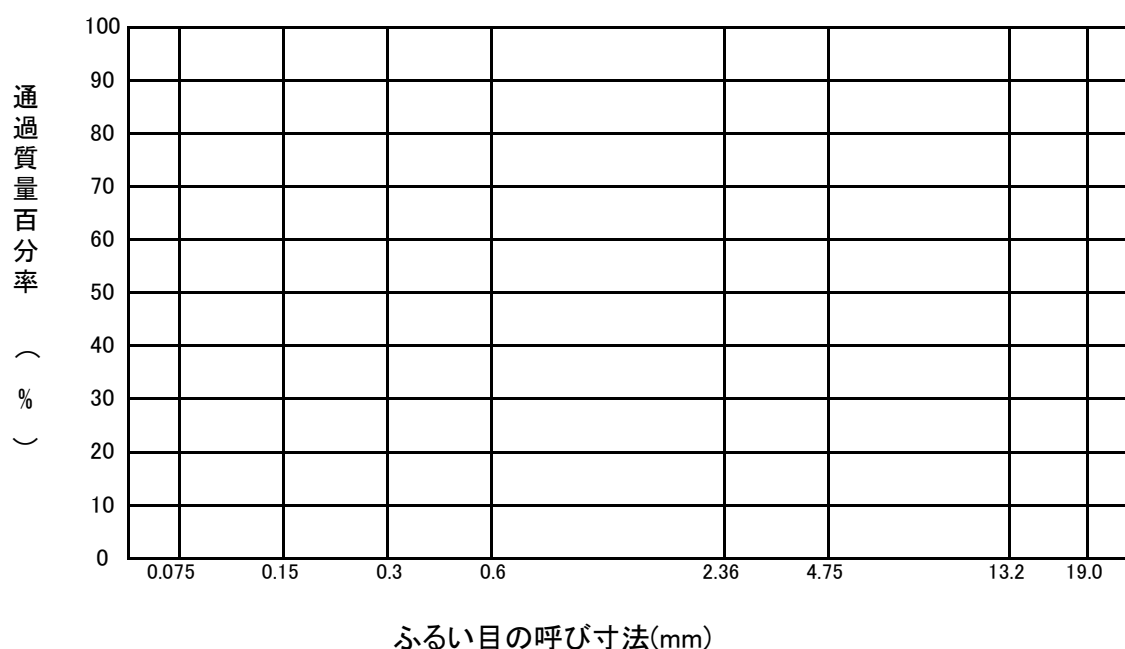
## 合材粒度ふるい分け試験及び配合比決定例

工 事 名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工 種 名 \_\_\_\_\_ 測 定 者 \_\_\_\_\_ 印

1. 使用予定骨材のふるい分け試験結果								
ふるいの呼び寸法 (mm)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.

### 2. 使用予定骨材の配合百分率の決定



様式 45

骨材の推定変動範囲（細骨材及びスクリーニングス）

試験日 平成 年 月 日

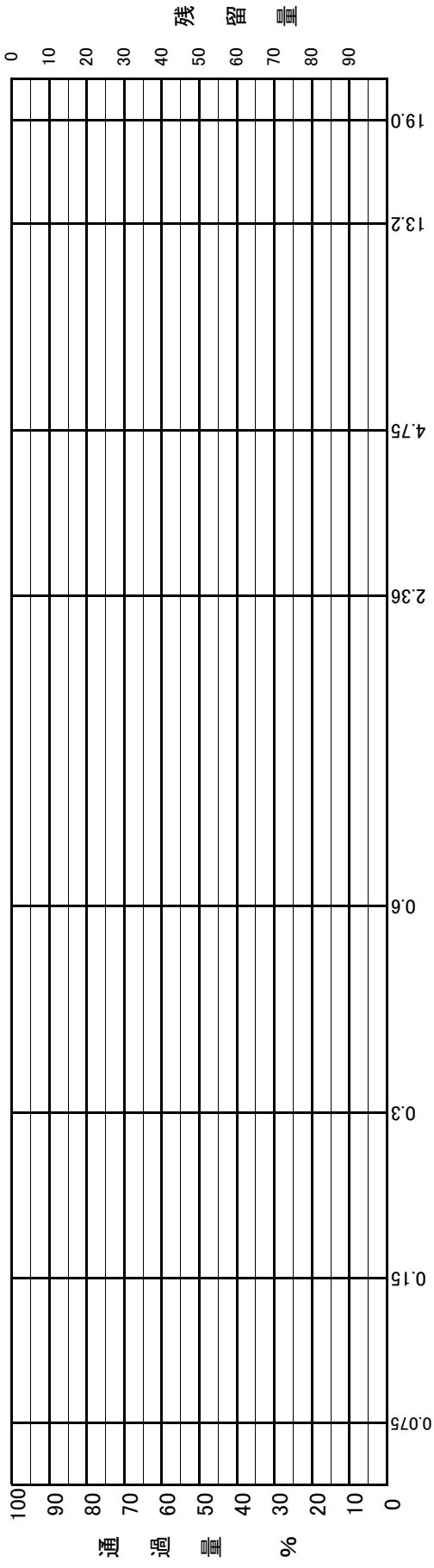
受注会社名

測定者

工事名

工種名

印



粒径 mm

凡例	①					
	②					
			③			
					④	



骨 材 配 合 率 の 密 度 補 正

工 事 名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工 種 名 \_\_\_\_\_ 測 定 者 \_\_\_\_\_ 印

							(記号) ( )	(合材種別) ( )
骨 材 種 類								計
配 合 率 a								100
密 度 b								-
a × b								( c )
補 正 配 合 率 $\frac{a \times b}{c} \times 100$								100

様式 47

骨材配合率及びび合成粒度（室内試験）

試験日 平成 年 月 日

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_ 印  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_

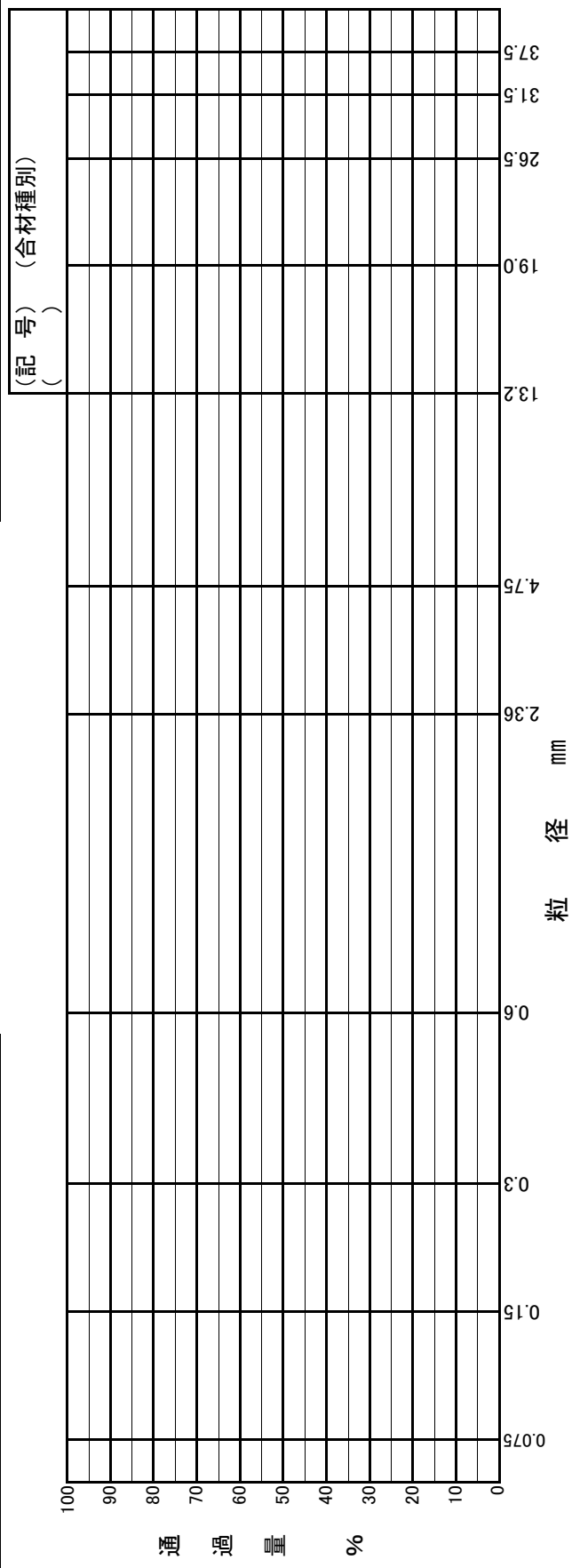
骨材種類 配合率 (比重補正)	X 配合率		X 配合率		X 配合率		X 配合率		X 配合率		合成度 Σ (X配合率)	指定粒度範囲
	原粒度	配合率	原粒度	配合率	原粒度	配合率	原粒度	配合率	原粒度	配合率		
通過量												
53 mm												
37.5												
31.5												
26.5												
19												
13.2												
4.75												
2.36												
0.6												
0.3												
0.15												
0.075												

様式 48

合成粒度曲線(室内試験)

試験日 平成 年 月 日

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_ 印  
工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_



合成粒度 \_\_\_\_\_  
指定範囲 \_\_\_\_\_

様式 49

試験配合表（アスファルト量別）

試験日 平成 年 月 日

工事名 \_\_\_\_\_

受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

配合区分	アスファルト量%	粗骨材%			細骨材%		石粉 %	合計 %	摘要
(アスファルト針入度 )									
A									
B									
C									
D									
E									
F									

・配合区分はアスファルト量0.5%又は0.3%毎に区分すること

アスファルト混合物の安定度試験  
(マーシャル式・理論最大密度)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試 験 日	平成 年 月 日 曜 天候				
試 験 日 の 状 態	室 温 (°C)	湿 度 (%)	水 温 (°C)		
混 合 物 の 種 類					
理 論 最 大 密 度 の 計 算					
骨 材 の 種 類	産 地 名	① 配 合 比 (%)	②各骨材の比重	③係 数	$\frac{①}{②}$
係 数 の 和=④=					
乾 燥 骨 材 の 比 重= $\frac{100}{④}$ =					
⑤ アスファルト 混 合 率 (%)	⑥ アスファルトの 比 重	⑦ $\frac{⑤}{⑥}$	⑧ $\frac{④(100-⑤)}{100}$	⑨ ⑦+⑧	⑩ 理 論 最 大 密 度 $\frac{100}{⑨}$
考 察					
-----					
-----					
-----					
-----					
-----					
-----					



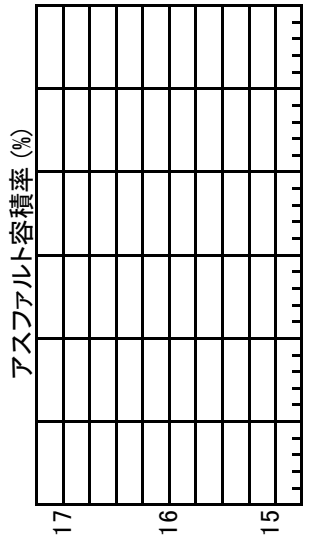
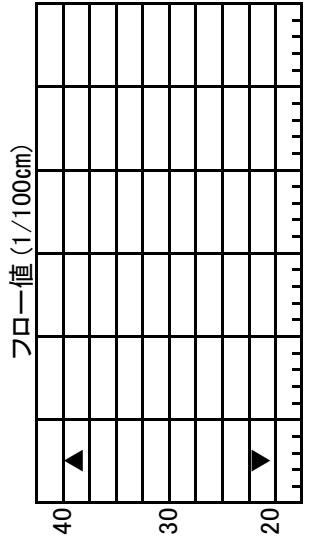
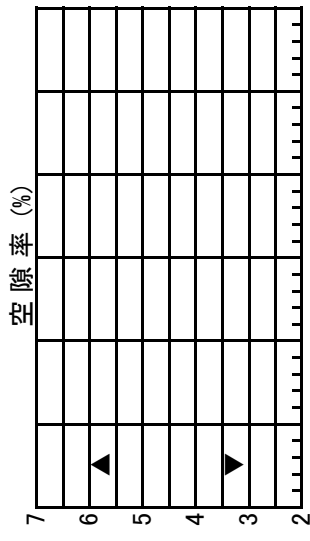
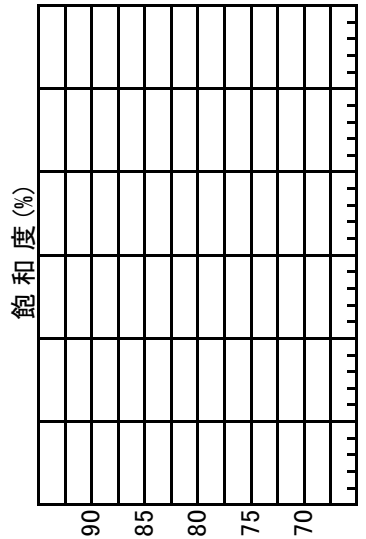
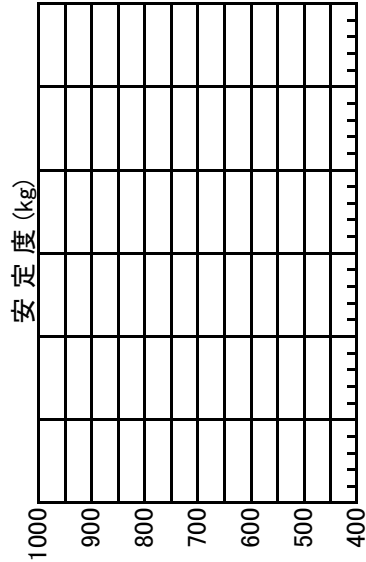
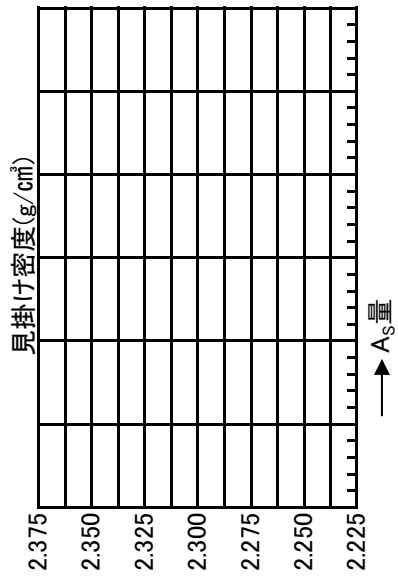
様式 51

試験結果図表

工事名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_

受注会社名 \_\_\_\_\_ 印  
 測定者 \_\_\_\_\_

(記号) (合材種別)  
 ( ) ( )




注) : 上記の基準値の線は密粒度の1例を示している。合材種類が異なる場合は、「アスファルト舗装要綱」により適宜置き換えること。


マーシャル試験による基準アスファルト量

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

(記号) (合材種別)  
( )

安定度									
フロ－値									
空隙率									
飽和度									
アスファルト量	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	%	
許容範囲									

注：1. それぞれの範囲を  で示し、端部にアスファルト量の数値を付記する。

許容範囲は4項をすべて満足する範囲を  で示し、端部にアスファルト量の数値を付す。

2. 上表の基準値は、密粒度の1例、種別が異なる場合は「アスファルト舗装要綱」による。

基準アスファルト量A

許容範囲の最大値 ①	%
〃 最小値 ②	%
A= [ $\frac{①+②}{2}$ ]	%

注：アスファルト混合物の一般的な配合設計では、所要の性状を満足し切れない特殊条件のある場合は、現地の実情、過去の実績を勘案して①～Aの範囲で適宜決めること。  
 なお、「特殊条件」とはアスファルト舗装要綱による「特殊条件」のことである。

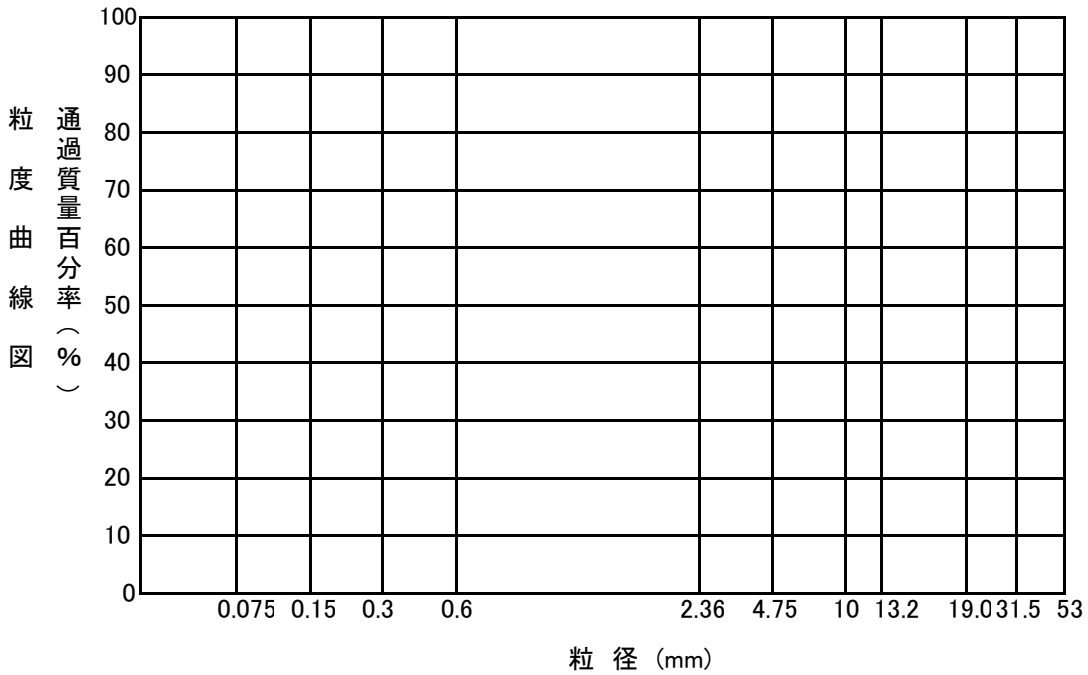


フィーダ、ホットビン、ミキサーの骨材の粒度試験

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試験日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 午前 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
 試料採取時刻 午後 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
 骨材の産地又は製造会社名 \_\_\_\_\_

骨材の種類 通過ふるい											合成 粒度
	53										
37.5											
31.5											
19.0											
13.2											
9.5											
4.75											
2.36											
0.6											
0.3											
0.15											
0.075											
31.5											
19.0											
13.2											
9.5											
4.75											
2.36											
0.6											
0.3											
0.15											
0.075											





アスファルトの抽出試験

工事名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 舗装箇所 \_\_\_\_\_  
 試料番号 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 試験日 平成 年 月 日 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

アスファルト抽出試験結果				(焼却法)				(加圧濾過法)			
試 験		採取時		試 験		採取時		試 験		採取時	
抽出前の試料の質量 g	①			抽出液全容積 cc	⑦			加圧前の口紙の質量 g	⑦		
抽出前の口紙の質量 g	②			焼却前の蒸発皿の質量 g	⑧			加圧後の残留物質質量 g	⑧		
抽出骨材質量 g	③			焼却後の蒸発皿の質量 g	⑨			加圧後の口紙の質量 g	⑨		
抽出後の口紙の質量 g	④			石粉の質量 g	⑩			口紙付着石粉質量 g	⑩		
口紙付着石粉の質量 g	⑤	④-②		抽出液中の石粉の質量 g	⑪			抽出液中の石粉質量 g	⑪		
抽出全骨材質量 g	⑥	③+⑤		⑩=⑨-⑧    ⑪=⑩× $\frac{⑦}{100}$				⑩=⑨-⑦    ⑪=⑧+⑩			
				抽出残留物(骨材)の粒度分布							
全骨材質量 g	⑫	⑥+⑪									
アスファルト量 g	⑬	①-⑫									
アスファルト混合率 %	⑭	$\frac{⑬}{①}$									
備考											

抽出残留物のふるい分け結果

採取時 試 験									
	ふるい目 (mm)	各ふるい残留質量 g	各ふるい残留百分率%	累加残留百分率%	累加通過百分率%	各ふるい残留質量 g	各ふるい残留百分率%	累加残留百分率%	累加通過百分率%
53									
31.5									
19.0									
13.2									
4.75									
2.36									
0.6									
0.3									
0.15									
0.075									
0.075以下									



プルーフローリング試験

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

項目	事項				備考
天候		測定面の含水状況			
試験区間	No. _____ ~No. _____				
載荷車	型式		接地圧		
載荷状況	予備載荷回数	回	本載荷速度	km/h	

試験結果

視察展開図	
視察記事	
異常箇所の処置	